



情報通信プログラム 助教 チョ ニラ ピョ

出身：ヤンゴン、ミャンマー
趣味：料理をすること、読書
講義：情報データテラシー、プログラミング演習II
専門：画像処理とコンピュータビジョン

ひとこと

AIで高信頼性のスマートビデオ監視システムの実装し、安全安心な世界を築きましょう。

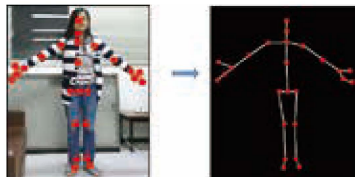
研究内容

歩容認識に基づく人物再識別システム

- 潜在的な犯罪を防止するための高度な技術の1つとして、人物識別技術が挙げられます。
- 本研究の目的は歩行速度、歩幅、および姿勢時間などの歩行特性に基づいて人物を識別することが、高信頼性のスマートビデオ監視システムの実装にどのように貢献するかを調査することです。

高齢者の転倒行動予測システム

- 本研究の目的は高齢者の日常の歩行サイクルパターンを分析して、転倒行動が発生する前に正確な転倒を予測することができるインテリジェントな転倒警告システムを開発することです。
- 人間のキージョイントの動きパターンと歩行サイクルパターンに基づいて転倒行動を予測します。



人間のキージョイント

この研究はどう役立つ？ 研究から学べることは？

- セキュリティが人間の日常生活で最も重要な役割を果たしています。スマートビデオ監視システムは安全安心な社会の実現に役立ちます。
- 高齢者は転倒による怪我や入院のリスクが高いため、転倒を予測し防ぐことが重要です。高齢者の転倒行動予測システムは独居生活する高齢者の安全と福祉を確保することができます。



歩容認識に基づく人物再識別システム



高齢者の転倒行動予測システム